

京都府産業教育審議会提言の概要

- 府立高校における情報教育の在り方について -

情報教育の課題

- ・府立高校においては、全ての生徒にコンピュータ等の機器操作能力を身に付けさせ、情報の受・発信における情報リテラシーを高めるよう努めなければならない。
- ・各専門学科にあつては、それぞれの分野における実践的な情報活用能力を育成することをねらいとした情報教育の充実が必要である。
- ・情報を総合的・専門的に学習できる環境を設けるなど根本的な対応が求められる。

府立高校における情報教育の在り方

< 情報に関する専門学科の必要性 >

- ・高度な情報化社会を支える、質・量ともに充実した人材を育成するためには、従来の枠組みでは十分対応できない。
- ・専門教科「情報」が設けられたことを踏まえると、情報教育の中核となる学科として、情報技術の進歩に的確に対応した教育を展開する学科を創設することが必要である。

< 情報に関する専門学科の概要 >

「育成する能力や資質」

- ・情報に関する基本的な知識・技術を体系的に身に付け、情報を正しく収集、処理、発信するなど目標達成のための手段として活用できる能力
- ・社会における情報の意義・役割や、情報に携わる者としてのモラルを理解し、高度情報通信ネットワーク社会の諸課題を主体的、合理的に解決できる能力
- ・情報の受・発信の基本である人とのコミュニケーション能力や、幅広い教養や豊かな人間性

「教育の特色」

情報技術の進歩に対応した柔軟な教育の実施
生徒の自主性と創造性をはぐくむ学習の重視
上級学校への進学を重視した教育課程の編成
情報関連の資格取得の推進

「活用される制度等」

京都という地の利を生かした積極的なインターンシップの活用
大学の情報関連講座の受講など上級学校との連携の推進
最新の知識・技術の指導を受けるための社会人講師の積極的な活用

「指導者の養成」

- ・専門学科の教育目標の達成のためには、高い専門性と指導力はもちろん、幅広い知識と教養、豊かな人間性をも兼ね備えた教員の養成に努めなければならない。

産業社会の変化に対応した各専門学科における情報教育の充実

- ・我が国の産業社会は、各産業が従来の固有の領域内の活動から、「情報」を要として、他の分野・領域に拡張したり相互に融合し合う展開が進みつつある。
- ・グローバルな視点を持ちながらも、それぞれの専門領域の知識・技術に情報技術を結びつけることができる、柔軟な発想と豊かな行動力を持つ職業人が求められており、この点を踏まえた農業、工業、商業、水産、家庭等各学科の改善・充実が必要である。